

教科名	芸術科	科目	音楽	週授業時間	1時間
-----	-----	----	----	-------	-----

担当者名 蕨徹

1. 教科書および副教材・参考書

中学生の音楽 2・3 上 (教育芸術社)

音楽のおくりもの 中学器楽 (教育出版)

2. 授業の目標および内容

感染症予防の観点から、『歌唱』『リコーダー』の実施ができない期間は、『聴音』(聴いた音を楽譜に書くこと)や、「リズム練習」「鑑賞の時間増」「楽典の強化」などを予定しています。

中1で学習した基礎的な読譜知識を、実際の演奏に結び付けていくことを目指します。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 なし	二次 あり	一次 なし	二次 あり	期末 あり
学力試験	第1回 なし		第2回 なし		第3回 なし

内容・難易度について

① 定期試験: 授業で学習した「楽典」「鑑賞」「リコーダーの運指」などを中心に出題します。

② 実技試験: リズム打ちなど

4. 課題・補習について

プリント課題の提出など

5. 評価の視点

① 定期テスト

③ 実技テスト

④ 鑑賞プリントの感想

⑤ 授業態度

以上の総合で評価します。実技試験における詳しい評価の視点については、課題実施毎にお知らせします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>オリエンテーション</p> <p>【合唱】</p> <p>【器楽】</p> <p>【鑑賞】</p> <p>バッハ作曲《小フーガト短調》</p> <p>【楽典ほか】</p> <p>中1の復習</p> <p>拍子</p> <p>リズム打ち練習</p> <p>簡単な聴音</p>	<p>一学期は合唱の実施を見合わせます</p> <p>一学期はアルトリコーダーの実施を見合わせます</p> <p>パイプオルガンのしくみと、その多彩な音色を鑑賞します</p> <p>楽譜の書き方を復習し、聴音に取り組みます</p> <p>拍子についての知識（記譜法など）を学び、リズム課題に取り組みます</p>	
2	<p>【合唱】</p> <p>合唱コンクールに向けて</p> <p>発声練習</p> <p>選曲、パート練習</p> <p>【器楽】</p> <p>アルトリコーダー</p> <p>岡野貞一《故郷》</p> <p>ベートーヴェン作曲</p> <p>《交響曲第5番》</p> <p>【鑑賞】</p> <p>ベートーヴェン作曲</p> <p>《交響曲第5番》</p> <p>ヴェルディ作曲</p> <p>《アイーダ》</p> <p>【楽典】</p> <p>反復記号</p> <p>速度記号</p>	<p>合唱コンクールに向けて、クラスごとに曲を選び、パート練習による音取りをします</p> <p>鑑賞の題材と同じ楽曲を実際に演奏することで、オーケストラ演奏における主題を聴き取る力を身につけます</p> <p>作曲家の生涯について学び、苦境を乗り越えて作曲された背景についても考察します</p> <p>総合芸術と呼ばれる「オペラ」の名場面を鑑賞します</p> <p>合唱の楽譜で頻繁に使用される「反復記号」について学びます</p>	

3	<p><b>【合唱】</b> 合唱コンクールに向けて</p> <p><b>【器楽】</b></p> <p><b>【鑑賞】</b> 歌舞伎</p>	<p>パート練習による音取りの徹底と、全体練習による、音楽作りを中心に進めます</p> <p>三学期は器楽の実施はありません</p> <p>日本の伝統芸能の鑑賞と、一つの舞台を作るための舞台裏についても知ること、舞台芸術についての理解を深めます</p>	
---	--	--	--